

種類	何に付くか	どんな文の成分をつくるか。	何を示すか。
格助詞	主に (体言) につく。	・主語 ・連体修飾語 ・連用修飾語 をつくる。	あとの文の成分との関係を示す。
接続助詞	(用言)や (助動詞) につく。	(接続語) をつくる	その接続語とあとの文の成分との 関係を示す。
副助詞	(いろいろな 語) につく。	・特定の文の成分を つくらない。	様々な意味を付け加える。
終助詞	(文)や (文節) の終わりにつ く。	・特定の文の成分を つくらない。	話し手(書き手)の (気持ち)や (態度)を表す。



*次の助詞は、それぞれ何助詞になるか、見分けてみよう。

- ①ア、ここが私の家です。(格助詞) イ、君はどこから来たの?(終助詞)
 ②これから彼と会う。(格助詞) イ、冬になるとかなり寒い。(接続助詞)
 ③知ってはいたが、無視した。(接続助詞) イ、あれが僕の弟だ。(格助詞)

*P243 確かめよう 解答

- (1) ア 格助詞 イ 終助詞 (2) ア 格助詞 イ 接続助詞
 (3) ア 格助詞 イ 終助詞 (4) ア 接続助詞 イ 格助詞

☆ここまでお疲れさまでした。まとめに「群馬県教育委員会」のHPの授業動画(新三年国語「助詞」)を見て、理解を深めましょう!